

新型コロナウイルス問題への経済対策として現金での補償をもとめる有志が国会前でスタンディング。参加できない人も「#現金よこせ」をつけてツイッターに投稿。大きく拡散されてトレンド入りしました=3月27日



国会前
スタンディング



若者が
政府に要請

日本民主青年同盟は、新型コロナウイルスに関する青年生活緊急調査を全国で実施。「自粛の影響で失職」「バイトを失い生活費も学費も確保できない」「内定取り消し」など、新型コロナウイルスで大きな被害をうけている青年への対策を政府に要請しました。日本共産党の吉良よし子参院議員が同席(向かい側右端)=3月31日、参院議員会館

新型コロナ

感染防止のために

「#自粛と補償はセツトだろ」

SNSで街頭で広がる声

野党が
一致して要請



「自粛をもとめておいて、補償がないのはおかしい」という声広がっています。安心して休業できる補償をおこなってこそ、感染拡大を防ぐことができます。日本共産党は、国民の健康と生活をまもるため、市民や野党各党と力をあわせてがんばります。

野党書記局長・幹事長会談が行われ、補償を軸にした緊急経済対策を政府にもとめることで一致。(左から)衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」の玄葉光一郎幹事長、国民民主党の平野博文幹事長、立憲民主党の福山哲郎幹事長、日本共産党の小池晃書記局長、社民党の吉田忠智幹事長=3月31日、国会内

